



都市再生整備計画 事後評価結果

守山中心市街地地区

守山市 都市経済部 都市活性化局 都市再生課
平成26年3月

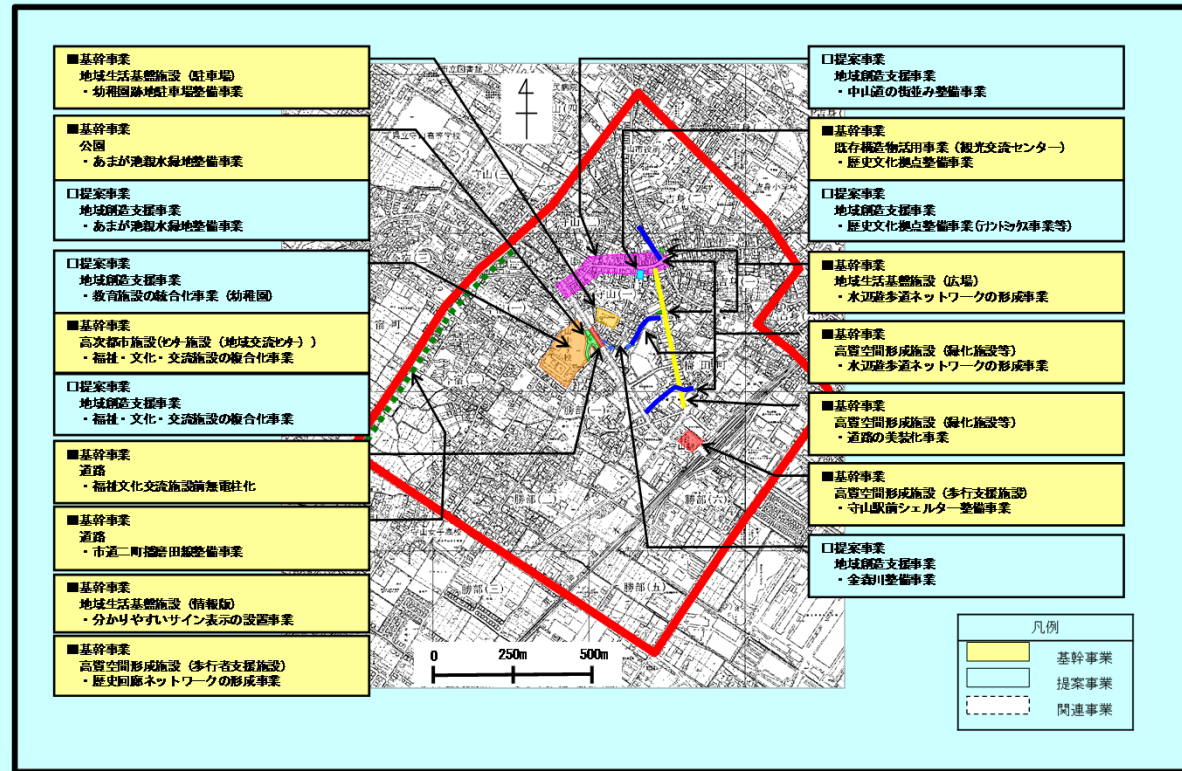
1. 評価結果のまとめ

都道府県名	滋賀県		市町村名	守山市	地区名	守山中心市街地地区			面積	146			
交付期間	平成22年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	731.2百万円	国費率	0.411					
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】二町播磨田線【公園】あまが池【地域生活基盤】守山川・金森川、サイン表示【高質空間】道路の美装化、守山川・丹堂川・金森川、一里塚・土橋・東門院・源内塚、【高次都市施設】守山小複合化施設【既存建物活用】歴史文化拠点										
		提案事業	【地域創造支援事業】中山道街並み整備（中山道沿道地区 泉町・本町）教育施設の統合化（守山幼稚園）福祉文化等交流施設 歴史文化拠点 金森川整備事業										
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	【道路】福祉文化交流施設前無電柱化【地域生活基盤施設】守山幼稚園跡地【高質空間形成事業】守山駅前シェルター			目標をより良く達成するため			全ての指標に関係するが、数値目標は据え置く					
	提案事業	【地域創造支援事業】あまが池			目標をより良く達成するため			全ての指標に関係するが、数値目標は据え置く					
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	指標1	歩行者・自転車通行量	人/日(平日)	6,002	H19	6,200	H25	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合見)	予定時期
	指標2	中山道の散策率	%	43	H19	50	H25		61	○	あり	都市機能の充実に伴い、生活利便性が高く魅力的で歩いて楽しいまちの環境が高まった。	H26年12月
	指標3	駅前コミュニティーホールの1年あたりの利用者数	人/年	9,684	H20	11,100	H25		14,039	○	あり	中心市街地の活性化に伴って住民活動が活発化した。	H26年12月
											なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 市道のバリアフリー化を実施することで、歩行者と自転車の通行がしやすくなり、歩行者・自転車通行量への効果があった。 福祉文化交流施設の供用開始により、地域活動の場が広がりが活発な活動が開かれるようになった。 利用しやすい駐車場の整備によって、パーク&ウォークにより周辺施設へ訪れたい環境が向上した。 うの家の一部に地域住民等のニーズを考慮した機能を導入したことにより訪れたい環境が向上した。 新たな交流の機会が増えたことによってコミュニティーの強化が図られ、地域住民の活動が増加した。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	①守山小学校・幼稚園・福祉文化交流施設についての意見交換 ②水辺遊歩道整備ワークショップ ③親水公園整備ワークショップ ④守山市UDウォッチャーによる部会・全体会議(サイン表示・福祉文化交流施設) ⑤歴史文化拠点施設整備ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● -					
	持続的なまちづくり体制の構築	子どもから高齢者までがいきいきと活動が出来る交流の場として、更に福祉文化交流施設等の諸施設が機能するよう地域主体の活動団体への支援の充実を図り、官民一体となったまちづくりの体制を確立する。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も福祉文化交流施設・歴史文化拠点施設等を中心に、活動団体の活性化やネットワーク化に向けての支援を強化する。					

2. 都市再生整備計画の成果概要

守山中心市街地地区(滋賀県守山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:『絆と活力ある「共生都市」の創造』 目標1:子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち 目標2:住民参加により、地域資源を活かし魅力的で歩いて楽しいまち	歩行者・自転車交通量	人/日(平日)	6,002 H19	6,200 H25	6,953 H25
	中山道の散策率	%	43 H19	50 H25	61 H25
	駅前コミュニティホールの利用者数	人/年	9,684 H20	11,100 H25	14,039 H25



歴史文化拠点整備事業



福祉文化交流施設の複合化事業
あまが池親水緑地整備事業



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・教育文化施設や高齢者福祉機能を整備し、幅広い世代が共生できる環境が高まり一定のサービスは果たされているが、貸館主体となりサービスがルーティンワーク化されてしまい、十分な市民サービスを提供できていない。 ・都市機能の充実に伴い、生活利便性が高く魅力的で歩いて楽しいまちの環境が高まったが、一過性のにぎわいことまるごとなく、継続的に来訪者を確保する必要がある。 ・中心市街地の活性化に伴ってコミュニティホールを利用する住民活動が活発化した。従前からの既存団体の活動が目立ち、更なる新規住民の自発的活動を促す必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる情報発信と交流事業の創出 まちづくり会社を中心とする民間が主役となって、市民ニーズを反映させながら継続性のあるイベントを運営し、行政は側面支援を行う。また、イベントを企画・運営する人材を育成する。 ・継続的な賑わいの創出 継続的で魅力あるイベントを開催することと併せて広く市内外に情報発信を行い、何でも訪れたいにぎわいの創出を図る。 ・新たなコミュニティ形成の場となる施設の運営充実と都市空間の構築 新規住民が参加しやすく、新たなコミュニティ形成の場となるような施設の運営充実を図るとともに、幅広い分野・世代において市民が交流できる都市空間の構築を図る。